

令和6年度 文部科学省委託「幼児教育の学び強化事業」

園と共に歩む幼児教育アドバイザーのための研修動画

第2巻



訪問支援の実際

公益社団法人 全国幼児教育研究協会

はじめに

本研修動画の目的

- 幼児教育施設を訪問し、園のよさや可能性を見付けて、保育者自身が意欲をもって取り組めるようにする、その**支援の方法**について学びます。
- 保育参観の方法や協議を進める際の視点、アドバイスへのつなげ方など、具体的な**方法や配慮点**などを考えます。

第2巻の構成

- I 訪問する園が決まったら
- II 参観する際のポイント
- III 保育の場に入って
- IV 協議会では

I 訪問する園が決まったら

令和〇年度 幼児教育アドバイザー派遣依頼書

- 1 園の概要 クラス数 〇〇 0歳児 〇名、1歳児 〇名、.....
- 2 訪問時期 7月上旬
- 3 依頼内容

依頼したい分野	具体的に知りたい内容
☐ 子供理解 ☒ 乳幼児の発達と援助 ☒ 環境の構成 ☒ 保育記録の取り方 ☐ 指導計画の立て方 ☐ 3要領・指針の解説 ☐ 小学校との連携・接続 ☐ 保護者対応 ☐ 特別支援・インクルーシブ保育 ☐ その他	【依頼内容】 ・ 園内研究テーマ 「豊かに感じる子供の姿を目指して—環境の構成と援助を探る—」 4歳児の保育を通して考えたい 【担任が感じている課題】 ・ 環境の構成や援助がタイミングよくできないこと ・ 子供の経験している内容を捉えられていないこと

Ⅱ 参観する際のポイント ～講師の話より～

様々な場や物で遊ぶ子供たちを
参観する際の視点について

■ 河邊先生に保育の見方・見る視点について聞く

園を訪問するにあたって

私が大切にしていること

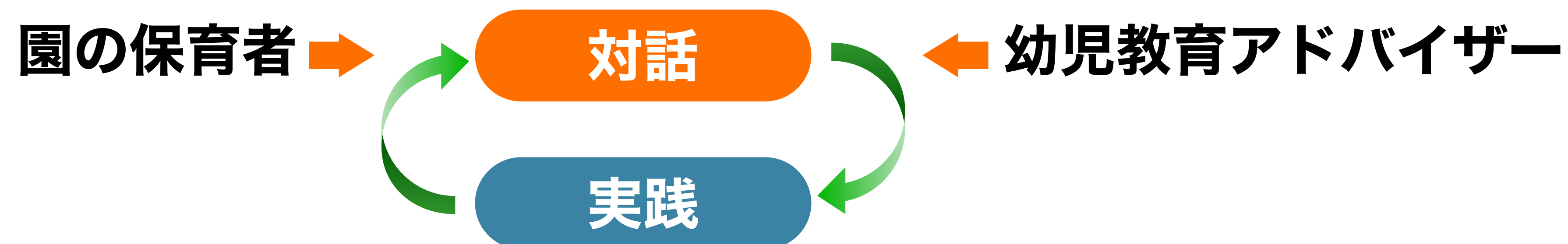
- 目的の共有
- 保育の見方・見る視点

目的の共有

■ 共に目指すのは「保育の質の向上」

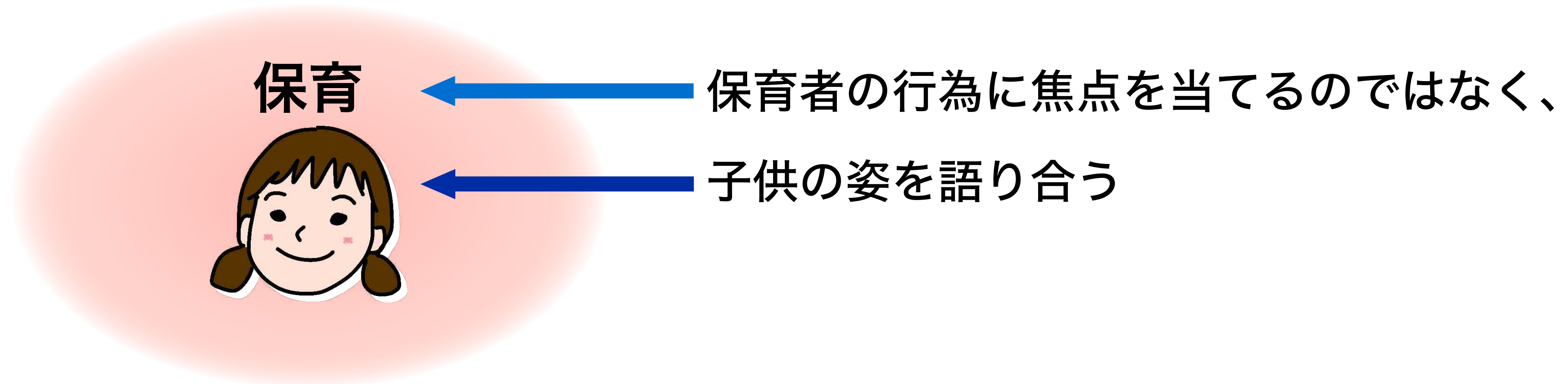


■ 「チームの活性化」のための対話



保育の見方・見る視点

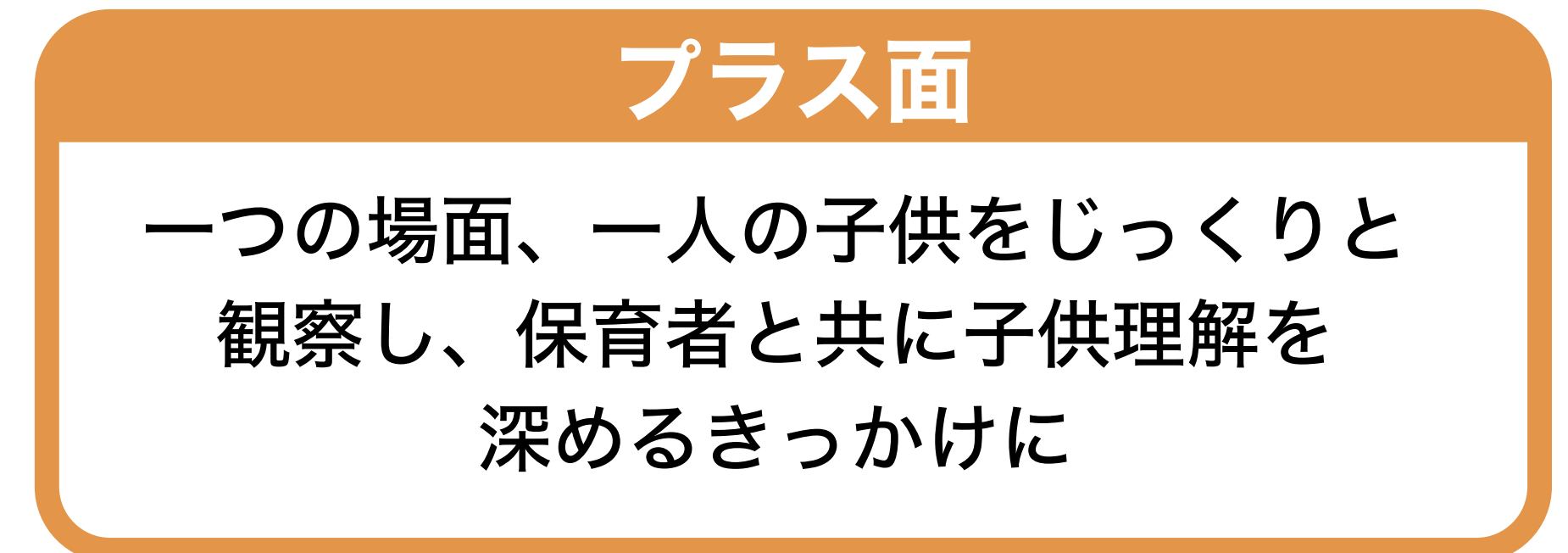
■ 子供の姿を真ん中に



■ 第三者のマイナス面・プラス面の自覚

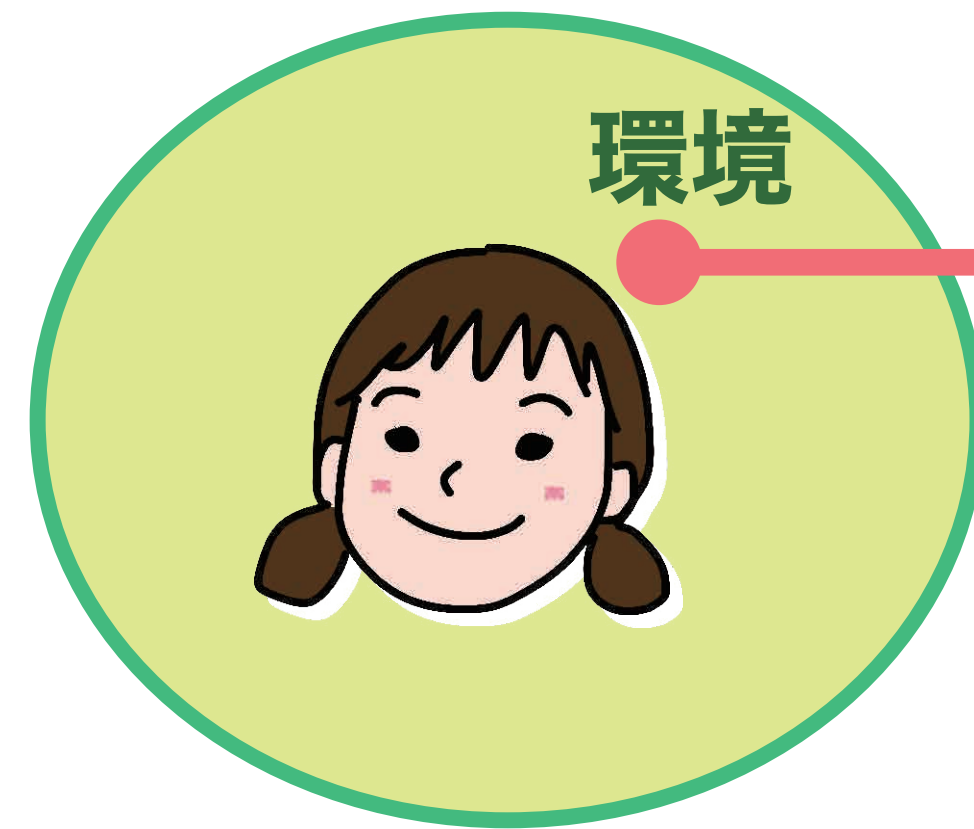


↓
現在のその園の姿を見つめ、対話を重ねる



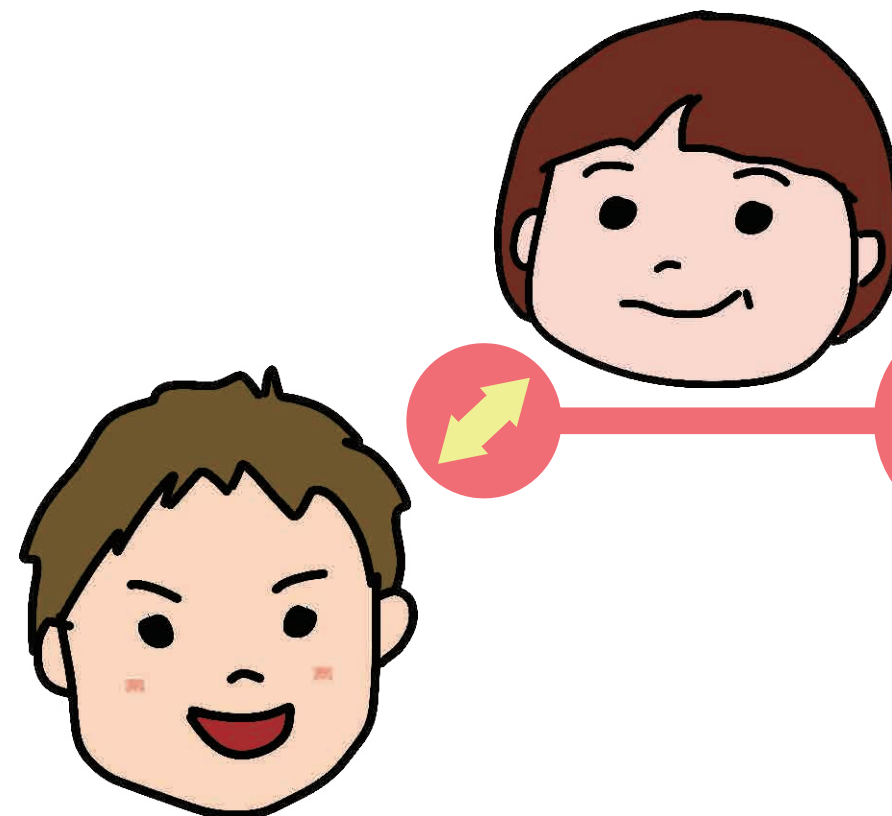
遊びを見る視点

■ 子供と環境の関係



子供は環境との関わりから遊びを生み出している

■ 子供の仲間関係

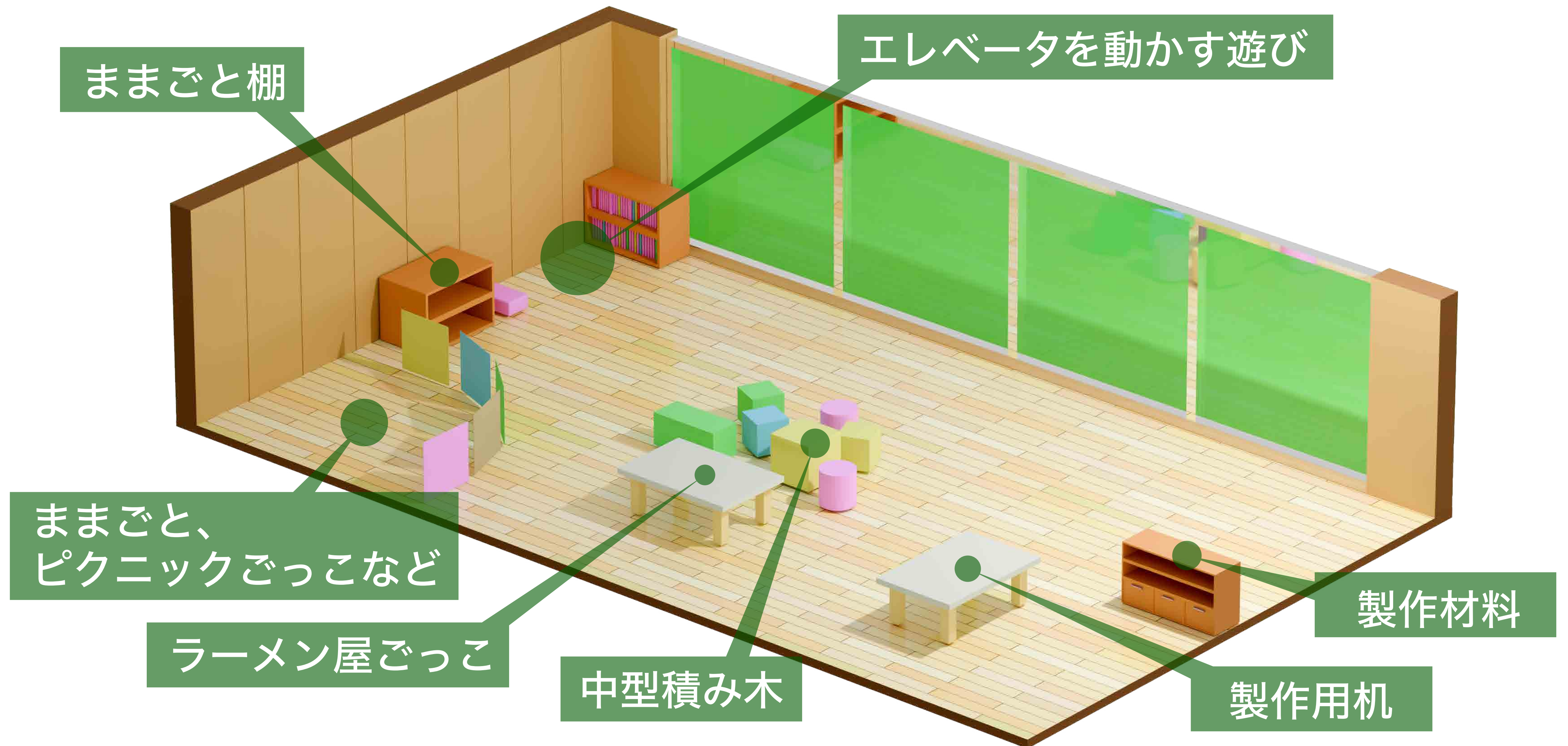


友達とのコミュニケーションから遊びが発展していく

Ⅲ 保育の場に入って ～「一緒にいさせてね」という気持ちで～



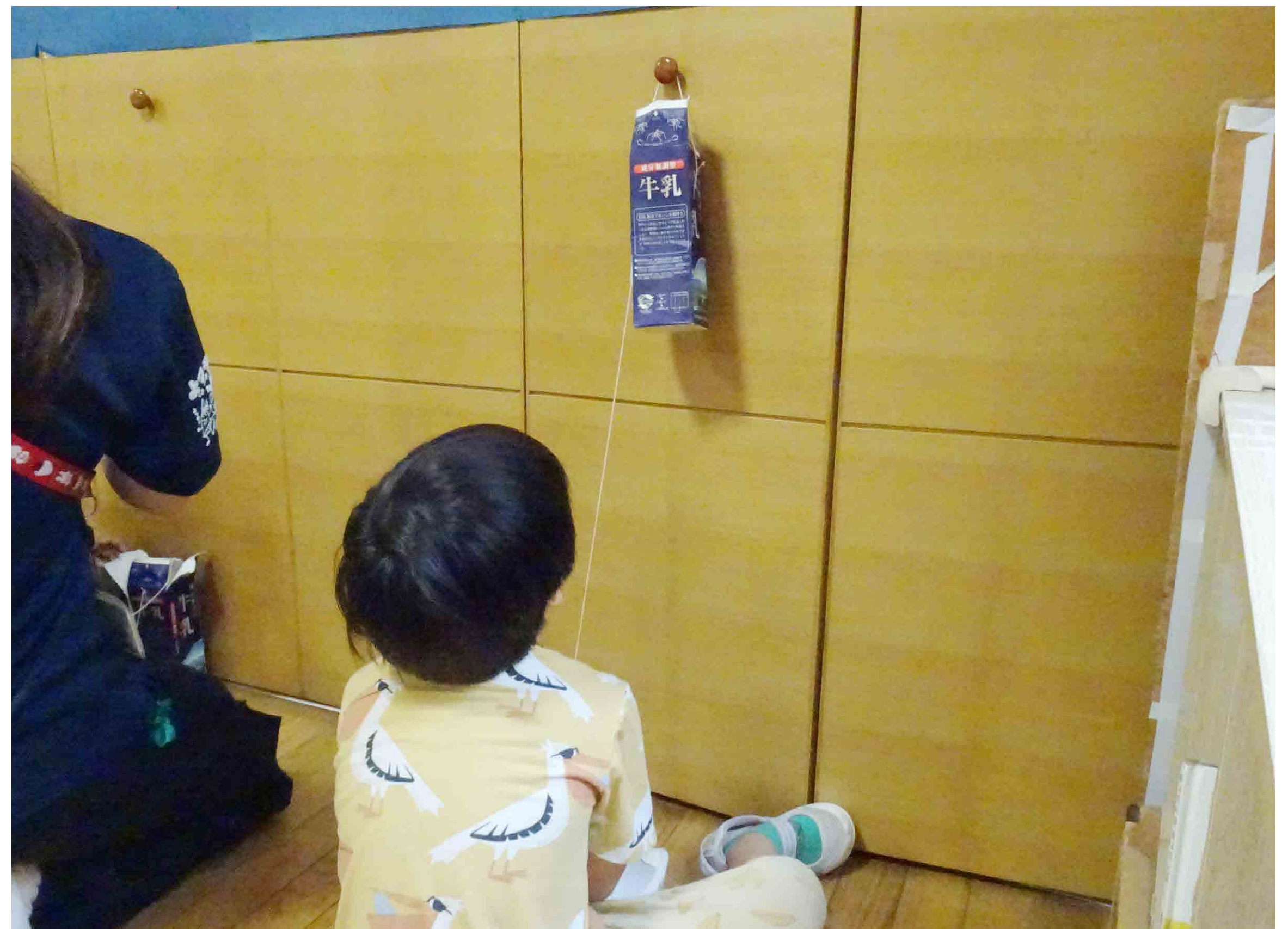
保育室の様子



この場面の読み取り ～ロケット作りの遊びを見てみよう



ストローを通したタコ糸を引っ張ると、
牛乳パックのエレベーターがするすると
上がる仕組みを試している。



この場面の読み取り



A児、B児、友達の作ったエレベータの
仕組みに興味をもち、試す。

絵本コーナーの近く。

空間もほっこりしていて落ち着く。

ロケットの図柄の誕生月の掲示の下。



この場面の読み取り



宇宙のイメージの壁面の下で始まった遊び。

担任が、その後のイメージの広がりを期待して「ロケットを作る？」と投げかける。

担任は、2人の関係性を読み取って、同じデザインの牛乳パックを2つ用意する。



この場面の読み取り



担任からロケットの先端の作り方を
教えてもらった後は、自分たちで工夫
する。

ロケットをもっと素敵にしようと思っ
たのか、同じ色画用紙を同じように貼
る。



この場面の読み取り



作ることに夢中になる。

材料を取りに行くときスキップする。

→喜びが行動に現われている。

作りながら、「ここがドアね」とか、「ここが窓」と会話する。

窓をクレヨンで描き始める。



この場面の読み取り



担任が次の広がりを考えて「誰か乗せる？」と投げかける。

A児は「Bちゃん、どうする？」と尋ね、
2人で相談し「乗せないことにする」
と答える。

何でも2人で相談する。



この場面の読み取り



担任が「ここを発射台にしたら？」と
ベンチを移動する。



この場面の読み取り



並べておこうとするB児。

嬉しくて仕方なさそうに、くっつける。

B児は、「明日は家の用事で園を休む」
と言う。

「続きをやってるね」とA児が言う。



IV 協議会では ～保育者自身の気づき～



IV-1 協議会のもち方と方向性の確認

～みんなで話し合う時間を大切にするために～



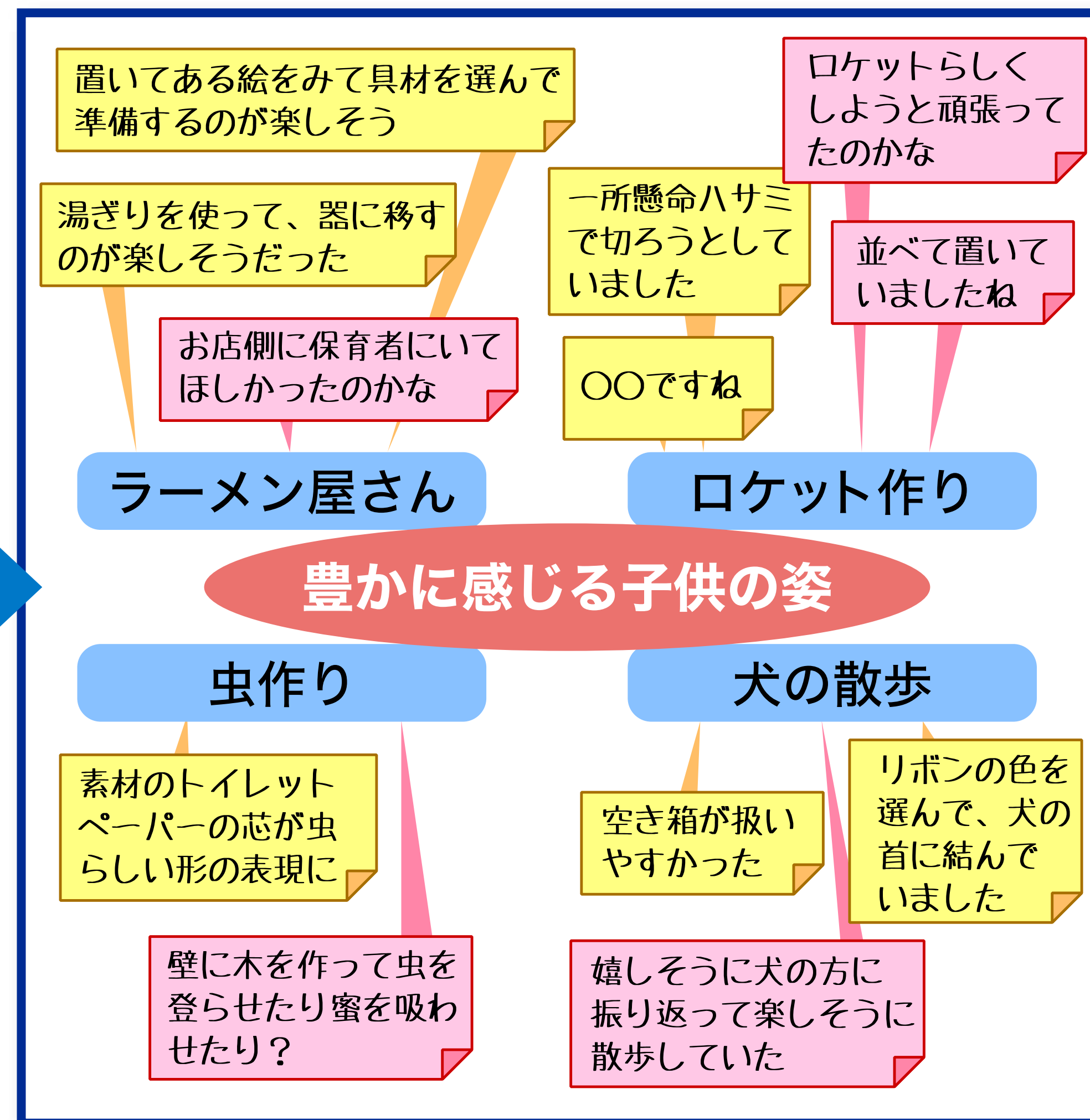
- **A 園では、2つのグループに分かれて協議**
→ 全体協議で、各グループの協議内容と結果を報告する流れ
- **グループ協議では、本日のねらいや子供たちの実態を念頭に置きながら、参観した遊びをどのように見ていくか、批判ではない意見交換ができるように、協議進行のイメージを共有**
- **時間配分の確認**
グループ協議と全体協議
講師からのご指導・助言

IV-2 協議会のもち方と方向性の確認 ～そのための方法を～

園内研究テーマ「豊かに感じる子供の姿を目指して—環境の構成と援助を探る—」

グループ協議の スタートは

- ・ 参観した場面について
(園内研のテーマに即して)
豊かに感じていると思われる遊び
その遊びの中の子供の姿
子供の姿と環境との関わり
保育者の援助
自分だったら〇〇する など
- ・ 思ったことを自由に発言
- ・ 意見や質問を付箋に記入！



担任が 学びたいことは

- ・ 環境の構成や援助の在り方
- ・ 子供の経験している内容の把握

みんなで話し 合いたい場面は

ロケット作りの場面を通して、環境との関わりや保育者の援助を見てみましょう

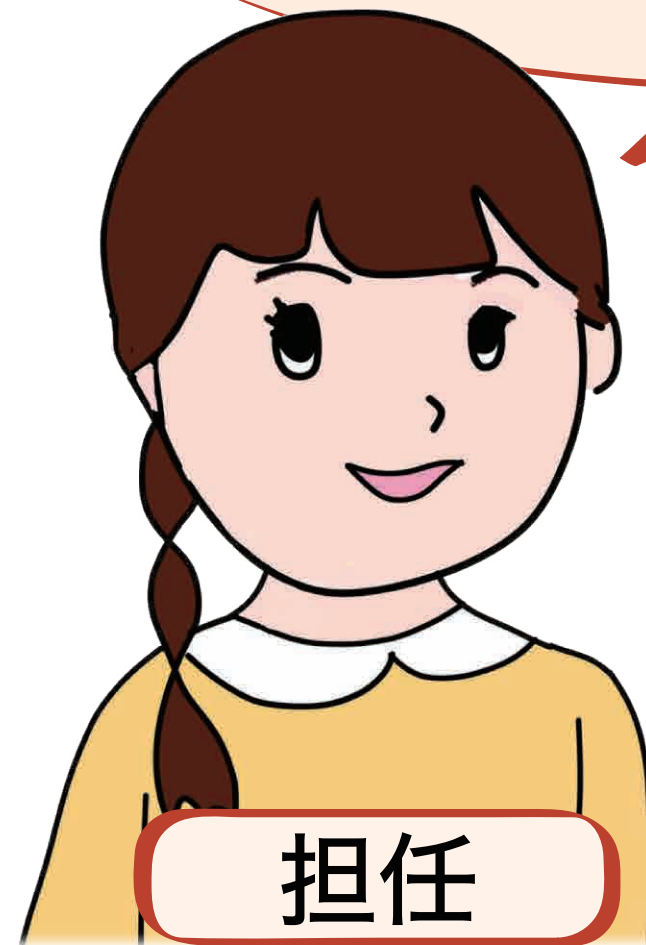
IV-3 ロケット作りの遊びを振り返る

A グループの協議から



IV-3-(1) A グループの協議の様子

2人が一緒に何かして遊ぼうと
思っている様子があったので、ロケットなら
2人が一緒に楽しめる遊びと思って
投げかけたんです。



あっ、油性ペンの方が
よかったかも…？

同じ色の画用紙を貼って
同じようにクレヨンで窓を作ろうとして、
一生懸命力を入れて塗っていた。

一緒に同じものを作るのが
嬉しくて力が入ってたのかな？

ん…。
少し描きづらかったのかもしれない。

仕掛けがあることが
魅力的だったのかしら？

仕掛けって子供が
好きなのよね。

ずっと2人が
笑顔でしたね。



IV-3-(2) 全体会で学びの共有 ～Aグループの報告を通して～



参観した保育者の感想や意見等

- ・ 楽しそうな2人の遊びの魅力、仕掛けの面白さなどについて話題になった。
- ・ クレヨンを探し、一生懸命窓を描いていたが、描きにくそうだった。

担任保育者の気づき、思い

- ・ 油性ペンを用意すればよかった。
- ・ 油性ペンが4歳児にとって扱いやすなものかについてメンバーと確認した。

講師のまとめ

子供の遊びを見る時は、子供の遊ぶ様子と、物や場などの環境との相互関係を読み取ることが大事。

おわりに

- 第2巻では、事例を通して保育を参観をする際の配慮や記録の取り方、協議会で多様な考え方を引き出し保育者自身の気づきにつなげる協議の工夫などを紹介しました。
- 保育の充実へのヒントを保育者と共に考え、気づきや喜びを共有しましょう。
- 園内研修が定着している園もありますが、園内で研修したり、協議をしたりする時間を取ることがなかなか難しい状況の園もあると思います。
- 園の規模や特性に応じて柔軟に対応する訪問支援が、園の保育の改善・充実につながっていくことが重要です。
- 講師の姿をモデルとして学び、皆さんが幼児教育アドバイザーとして訪問支援をする際の参考にしてください。



Decorative background featuring several blue birds in flight and wavy blue lines at the bottom.

公益社団法人 全国幼児教育研究協会

e-mail : admin@zenyoken.org

本研修動画及びスライド画面資料は、文部科学省の「幼児教育の学び強化事業」の委託費による委託業務として、公益社団法人 全国幼児教育研究協会が実施した令和6年度の調査研究の成果を取りまとめたものです。

したがって、本研修動画及びスライド画面資料の複製、転載、引用等には文部科学省の承諾が必要です。